

[参考資料]

1. 原料費調整制度の概要

- ・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、毎月、従量料金単価（1㎡あたりの単価）を調整する制度です。
- ・基準平均原料価格（83,350円/トン）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円につき、1㎡あたり 0.081円（税抜）調整します。
- ・ガス料金（一般ガス供給約款）の計算に適用する平均原料価格については、133,360円/トンを上限とします。

2. 平均的なガス使用量（29㎡/月）のご家庭のガス料金（2026年11月検針分）

（1）平均原料価格の算定

$$\begin{array}{rcllclclcl} <\text{LNG平均輸入価格}> & & & & & & <\text{LPG平均輸入価格}> & & \\ 106,660 \text{ (円/トン)} & \times & 0.9576 & + & 119,700 \text{ (円/トン)} & \times & 0.0466 & = & 107,715.636 \text{ (円/トン)} \\ \Rightarrow & 107,720 \text{ (円/トン)} & & & & & & & \text{※10円未満を四捨五入} \end{array}$$

（2）平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

$$\begin{array}{rcllcl} <\text{平均原料価格}> & - & <\text{基準平均原料価格}> & = & \\ 107,720 \text{ (円/トン)} & - & 83,350 \text{ (円/トン)} & = & 24,370 \text{ (円/トン)} \\ \Rightarrow & 24,300 \text{ (円/トン)} & & & \text{※100円未満を切捨て} \end{array}$$

（3）従量料金単価調整額の算定

$$\begin{array}{rcllclclcl} <\text{原料価格変動額}> & \times & & \div & & \times & <\text{消費税率}> & = \\ 24,300 \text{ (円/トン)} & \times & 0.081 \text{ (円/㎡)} & \div & 100 \text{ (円/トン)} & \times & (1 + 0.10) & = & 21.6513 \text{ (円/㎡)} \\ \Rightarrow & 21.65 \text{ (円/㎡)} & & & & & & & \text{※小数点第3位以下を切捨て} \end{array}$$

（4）従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款 料金表Bの場合）

$$\begin{array}{rcllcl} <\text{基準単位料金}> & + & <\text{従量料金単価調整額}> & = & \\ 169.03 \text{ (円/㎡)} & + & 21.65 \text{ (円/㎡)} & = & 190.68 \text{ (円/㎡)} \end{array}$$

（参 考）2026年10月検針分の従量料金単価との比較

	2026年11月	2026年10月	差額
従量料金単価	190.68円	185.60円	+5.08円
政府支援を踏まえた 従量料金単価 (10月分のみ)	190.68円	171.60円※	+19.08円

※ 電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援に基づく値引き（14円/㎡）を含んでおります。

（5）ガス料金（2026年11月検針分、税込）

$$\begin{array}{rcllclclcl} <\text{基本料金}> & + & <\text{従量料金単価}> & \times & <\text{ガス使用量}> & = & \\ 1,588.88 \text{ (円/月)} & + & 190.68 \text{ (円/㎡)} & \times & 29 \text{ (㎡/月)} & = & 7,118.60 \text{ (円/月)} \\ \Rightarrow & 7,118 \text{ (円/月)} & & & & & & \text{※1円未満を切捨て} \end{array}$$

以 上